

【令和6年度】事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年3月24日

事業所名 児童発達支援 スマイルリズム

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	午後の時間帯は適切であると言いつけられないと感じます。	設備基準、ガイドラインに沿ったスペースを確保しています。
	② 職員の配置数は適切である	7	1		人員基準に沿った人員数を確保しています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	スロープはありませんが、必要などころに踏み台を置いたり、手すり代わりになるものを設置したりして配慮しています。写真や絵カード、踏み台など、小さなお子様でも使いやすいツールを用意しています。	場所の構造化では、1活動1空間を意識した環境づくりをしています。バリアフリーと情報伝達手段の整えています。具体的には踏み台や手すりの設置、教材の文字フォントやサイズ、配色の調整、イラストや絵カード等の視覚支援が含まれています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	掃除は徹底して清潔です。スヌーズレンなど、子供たちが心地よく過ごせる環境になっています。毎日清掃を行い、清潔な空間を維持しています。	毎日のサービス提供終了後に住宅用洗剤で屋内の床、壁等全てを洗浄しています。
業務 改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0	不定期ではありますが、会議の機会を設けて話し合える場が持っています。定期的な児発会議が設けられている	月に一回、業務の改善に関する打ち合わせをし、決定事項を実践しています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0		年に一回、保護者様に対して事業所の評価をしていただいています。そこに集まった意向を踏まえて、課題を設定しその改善に努めています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		事業所のホームページで公開しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		第三者評価は実施しておりません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	1～2ヶ月に1回は研修があります。研修の機会が設けられています。実践に活かせる研修の機会が増えたと良いと思います	研修の機会を確保しています。法令に基づいた必須研修の他、今年度は「感覚統合運動」「協調運動」「注意能力」等を題材とした研修を通して、職員のスキルアップを図ってきました。
適切 な 支 援 の 提 供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	定期的に面談の機会を設けて保護者様のニーズを確認し、ニーズを踏まえて計画書を作成しています。	新規利用開始及び計画変更、更新の際には保護者様との面談機会を設け、新たなニーズに合わせた計画作成を行っています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		自施設でのツールの使用はありません。児童、生徒が他機関において、発達検査を受けた際、その結果を共有してもらい、支援内容に反映しています。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1		児童発達支援計画は、ガイドラインに沿った内容で作成し、交付しています。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0		毎日の打ち合わせにて、その日の来所者の支援目標や支援内容等を共有しています。そのうえで、実際の支援にあたり、目標の達成度を評価しています。
⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0		月に3、4回の会議にて活動プログラムの立案や見直しの検討をしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	さらに共有、支援に入る職員のリローテーションなど、支援の一体化ができると良いと感じます。	児童それぞれの状態像やニーズに合わせたプログラムを提供しています。構造化を基本としながらも、必要に応じてプログラムを変更しています。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0		児童の状態像やニーズに合わせたプログラムを提供しています。身辺処理、学習、各種プログラム、休み時間、集会参加等、個別活動と集団活動を組み合わせた内容としています。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	毎日、朝礼と昼礼でその日の支援の内容や役割分担について確認しています 毎回ミーティングを行っています。	毎回のサービス提供前にミーティングを行っています。全体の流れ、各職員の役割分担、プログラム内容、各児童、生徒の課題や支援内容等を確認し合っています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	振り返りの機会があり、不在の職員へも共有可能なツールがあります。	支援終了後に職員間で振り返りや情報共有をしています。必要に応じ不在の職員への報告をしています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	毎回サービス提供記録を記載しています。	支援終了後には各児童、生徒に関するサービス提供記録を作成しています。保護者への公開、他職員への共有を行い、意見交換や支援の見直しを行っています。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0		各児童、生徒の利用毎に、モニタリングを行っています。児童発達支援計画にある目標の達成度を測り、次につなげていきます。状態や環境が変わった場合には、計画の見直しを検討しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	6		現状、障害児相談支援事業所からのサービス担当者会議依頼はありません。収集があれば参画していきます。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0		保護者様のご希望、同意があれば、関係機関と連携し、会議や情報共有を行っています。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	8	対象となる利用者様はいません。	現在、対象となるお子様がありません。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	8	対象となる利用者様はいません。	現在、対象となるお子様がありません。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0		保護者様に同意をいただき、行っています。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0		保護者様に同意をいただき、行っています。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0		児童発達支援センター等と連携しています。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	1	スマイル祭りやバザーで交流の機会を設けています。	地域の保育園等との活動する機会はありませんでした。しかし、秋祭りではお子様のご家族にいらしていただき、利用者ではないご兄弟との触れ合いの機会はもてました。
㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	0		見沼区部会に参加しています。	
㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0		サービス提供記録では、保護者様へ「発達の状況や課題」について共有することを意識しながら記入しています。また、送迎時や面談、お電話等で必要なとき都度行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	3	トレーニングではありませんが、必要に応じて個別にアドバイスしたりしています	ペアレント・トレーニングをプログラムとして行ってはいません。現状、個別での相談を受け入れる形となっています。法人内で話し合い、検討していきます。
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		契約時に説明を行っていますが、十分に伝えきれていない可能性があります。HUGの活動記録にて事業所の重要な書類やマニュアル、様式を一つの記事にまとめ、定期的に更新していくことで改善を図っています。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		児童発達支援ガイドラインに基づき作成された個別支援計画書作成後に保護者様に同意をいただいています。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	面談や電話、メッセージで相談できる体制があります。	保護者様からの相談には随時HUGのメッセージやお電話にて応じ、必要な助言と支援を行っています。必要に応じて来所での直接面談も行ってあります。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	4		父母の会、保護者会の開催は行っていません。しかし、保護者様やご家族が参加できるイベントを行っています。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		保護者様からの相談や申し入れは「ご利用者様・保護者様の声」という様式に記入し、記録しています。対応者を定め、対応の計画を組織で話し合い、行っています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		紙面での会報は発行していません。活動概要や行事予定、連絡体制はHUGや個別のメール、メッセージ等で行っています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		個人情報の取り扱いに十分注意しています。しかし、忘れ物や持ち物の入れ違い等もあり、100%ではありません。今後も十分に気を付けていきます
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		言葉だけに頼らず、表情、ジェスチャー、文字、イラスト、具体物等を用いて、お子様とのコミュニケーションを行っています。また、保護者様に対しても、口頭で伝えただ後に書面やメッセージ等で視覚的に残すといった必要な配慮を行っています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	0	バザーを開催し、近所の方を招いています。	今年度は招待する機会がありませんでした。来年度はバザーを通じて地域との交流を図ります。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	HUGを使用して周知しています。
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	定期的に避難訓練を実施しています。	定期的に避難訓練を行っています。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0		3か月に1度、衛生管理研修を行い、てんかんや服薬、アレルギー等の確認を行っています。また、利用前には保護者様へお子様の体調について尋ねたり、学校の先生との引渡し時に異変を感じた場合には直ちに保護者様にご連絡しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0		食物アレルギーのあるお子様には医師の指示書の写しを提出していただいています。
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		ヒヤリハット事例集を作成し、職員間で共有しています。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0		虐待防止研修、虐待委員会を行い、対応しています。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	保護者様に同意をいただき、計画書に記載しています。	身体拘束防止研修、身体拘束防止委員会を行い、対応しています。手つなぎや緊急時の対応について、個別支援計画に定め、同意をいただいています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。